

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	40	学校名	仙台市立新田小学校	校長名	大友 重明
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 「今、自分たちでできること」



2 取組の紹介

新田小学校では、委員会ごとにテーマを決め、エコ・スクール活動に取り組んでいます。ボランティア委員会では、「エコキャップ（ペットボトルのキャップ）回収」を計画・実施しました。給食委員会では、「食事についての紹介」「給食の残食チェック」を計画・実施しました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

[ボランティア委員会]

今年度は、5月の委員会活動で「季節ごとの回収を行った方が協力してくださる方が多いのではないか。」との意見を反映させて年4回のエコキャップ活動を行いました。

回収を行う前の週までに、ポスターで全学級への呼び掛けを行いました。呼び掛けの効果もあり、月を追うごとにエコキャップの個数が増えていきました。想定よりも多くのエコキャップを回収することができ、児童は自分たちの活動が成功していると実感できたようでした。

集めたエコキャップは仙台中法人会様に回収していただき、ワクチン購入のためとして寄付をしました。児童たちに委員会で伝え、「何人分のワクチンになったのですか。」などの質問をしていました。

年度末に、1年を通して回収したエコキャップの量を、給食時の放送で全校児童に伝えました。たくさんの人たちに協力してもらえたことをうれしく感じるとともに、自分たちが実施した活動で多くの人の命を救うことができた実感でき、自分たちが行った活動の意義を感じたようでした。



活動の様子



回収したエコキャップ

[給食委員会]

今年度は、給食の残食を減らすための方法と、牛乳パックのごみを小さくして捨てるための方法の二つを考えて活動に取り組みました。

一つ目の方法では、残食チェックを実施しました。7月に抜き打ちで残食チェックを行い、学年に合わせて残食を減らすためのアドバイスを考え、放送で伝えました。また、1月に行われた給食週間でも残食チェックを行い、各学年で残食が最も少なかったクラスに賞状を贈りました。2回の残食チェックを通して、少しでも残食を減らそうと一口チャレンジしてみる様子や、おかわりをして食缶を空にしようとする様子などが見られるようになりました。



残食チェックの様子

二つ目は、牛乳パックのたたみ方を放送し、各クラスで実践してもらいました。また、ポスターを作成し、配膳室前に貼ったり、クラスに呼び掛けたりしたことで牛乳パックのごみをコンパクトにしようとする取り組みのクラスが増えてきました。

年間の活動を通して、給食の残食やごみを減らすために自分たちにできることは何かを考えながら実行していく姿が見られました。これからも学校全体で環境について考え、取り組んでいきます。給食への感謝の気持ちを忘れずに、みんなで給食を残さずに食べ、ごみを減らしていけるよう全校で励ましていけたらと思います。